

輝ける未来に向けて
三の丸地区コミュニティプラン

水戸学と黄門さんの街 三の丸



水戸城大手門



黄門さんの漫遊桜堤み 水府橋北岸



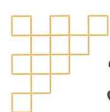
わくわくミステリーサタデーで遊ぶ子どもたち

自分たちの街は、自分たちの手で 守り・育て・残し、そして次世代へ
三の丸自治コミュニティ連合会

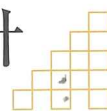
一人ひとりが主役の三の丸街づくり

私たち三の丸地区では、第一次コミュニティプランにもとづき、住民一人ひとりの努力により、水戸城大手門復元をはじめ水戸ならではの歴史的景観整備が終了、更に水戸市民会館もオープンし三の丸地区は新たな街づくりへ向けて力強い第一歩を踏み出しました。

今後の5年間は、子育て支援事業を柱に町内会や各種団体の活動支援などを通し市民力や地域力の向上を目指し、水戸市との官民協働の強化を深めながら三の丸らしい人づくりや街づくりに努めてまいります。



3つの目標と8つの活動方針



1

子育て支援

- ◆子どもたちの健全で健康な育成活動
- ◆家庭・地域・学校をつなぐ支援事業

2

地域福祉の充実

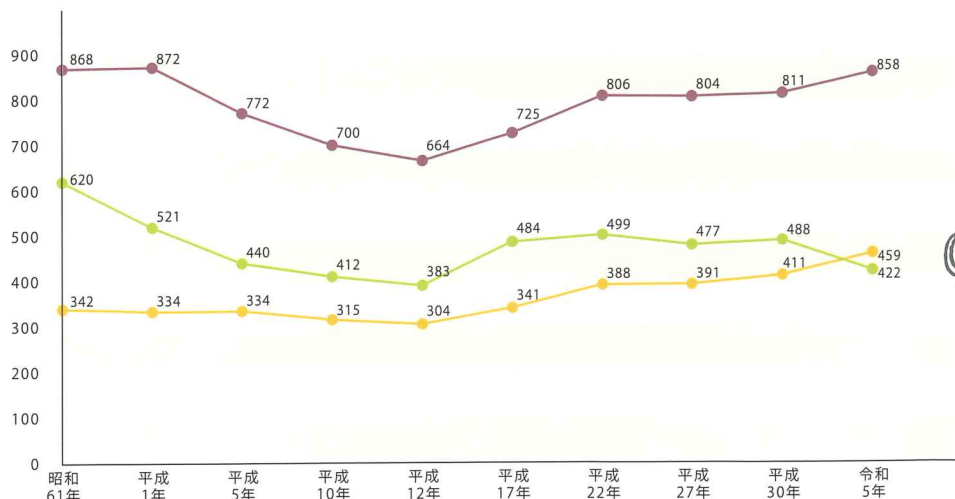
- ◆町内会・各種団体の活動支援
- ◆こだまの会活動を通じた地域福祉の推進
- ◆市民センターと協働の生涯学習や地域ふれあい活動の充実
- ◆高齢社会に対応した、生涯現役社会の構築

3

歴史の街づくり

- ◆黄門さんの魅力の再発見
- ◆弘道館と水戸学の道の個性と魅力のPR活動

三の丸地区人口・世帯数・児童数の推移

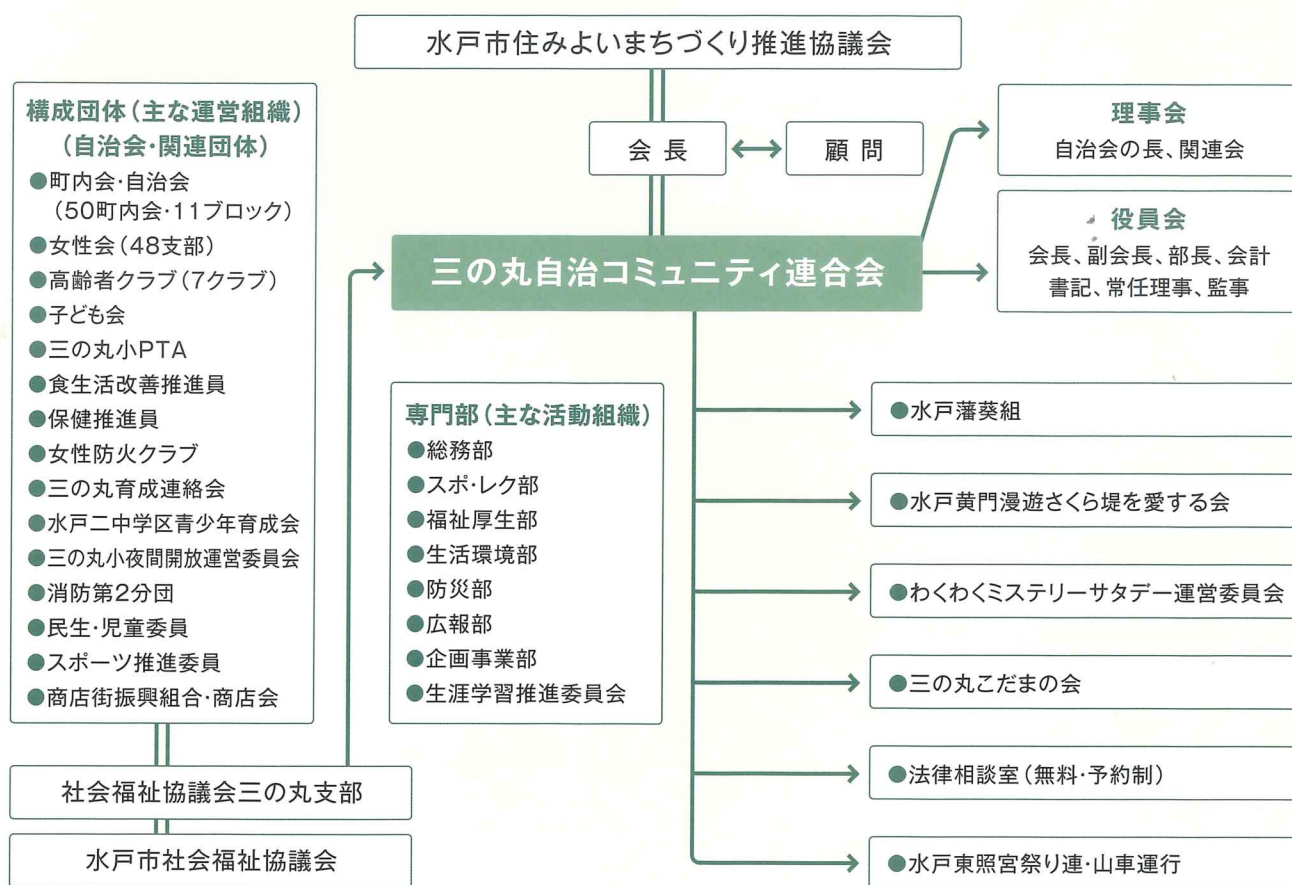


● 人口(10人)
● 児童数(人)
● 世帯数(10世帯)

三の丸自治コミュニティ連合会の活動組織

三の丸自治コミュニティ連合会は、下記組織や団体で構成されており、その活動は各町内会よりの負担金と市よりの事業補助金を柱に、社会福祉協議会三の丸支部や小中学校・各種団体と連携し市民福祉の向上や三の丸地区の発展に取り組んでおります。

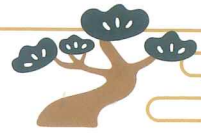
三の丸自治コミュニティ連合会及び関係機関組織図 [令和7年度]



三の丸地区歴史年表

二〇二三	水戸市民会館オープン
二〇二二	二の丸角櫓復元
二〇二〇	水戸城大手門復元
二〇一八	水戸市役所新庁舎完成
二〇一一	東日本大震災
一九九九	茨城県庁笠原移転
一九八六	那珂川大水害
一九六九	ドラマ水戸黄門スタート
一九六一	水戸黄門まつりスタート
一九四九	水戸市立第二中学校開校
一九四五	水戸大空襲
一九三二	旧水府橋完成
一九三二	水戸市水道低区配水塔完成
一九三〇	県レンガ庁舎完成
一九〇六	大日本史完成
一八九二	水戸市高等小学校(三の丸小)開設
一八八九	水戸市制施行
一八七二	弘道館に県庁開設
一八七一	廃藩置県
一八六六	戊辰戦争・弘道館の戦いはじまる
一八六四	天狗党筑波山挙兵
一八六〇	桜田門外の変
一八五四	孝明天皇より攘夷の密勅
一八四一	藩校弘道館創立
一八〇〇	斉昭公誕生
一六九二	嗚呼忠臣楠氏の石碑建立
一六五七	大日本史編纂はじまる
一六二八	光圀公誕生
一六〇三	頼房公誕生

子育て支援事業への取り組み



子どもたちは街の宝、三の丸地区会では弘道館建学の理念「文武不岐」のもとに、この良好な教育環境を生かしながら、街を愛する心や人にやさしい心の醸成など、多様な活動に励んでおります。

黄門まつり山車参加



三の丸こだまの会預り託児



PTAバザー協力



三世代ふれあい事業



手打ちソバづくり

黄門さん出前講座



大手橋プラムコンサート



ピンポンアカデミー



わくわくミステリーサタデー



カルタ大会

自然・科学の研究



ヒコキ飛ばし



子どもたちと共に



「わくわくミステリーサタデー」とは、子どもたちの健全な居場所づくりの一つで、現在は大学生ボランティアや遊びのプロのサポートのもと、子どもたちの目線や季節感を大切に一年間の多様な行事を計画、子どもたちの自主性を尊重しながら、豊かな創造性を育み自然を大切にする子どもたちの健全育成に力を尽くしております。

住民ふれあい活動・地域福祉活動の取り組み



近年地震や水害などが頻発し、高齢者や子どもたちが被害の事件が多発しており、地区会では下記のような多種多様な社会教育活動を通し三世代の交流を深め、安心して安全な「住みよい明るい」三の丸の人づくりや街づくりを目指しております。



黄門まつり提灯行列



福寿の集い



防災教室



町内会花壇



国田地区との交流事業



市民運動会



三の丸文化祭



三の丸地区花苗配布

地域福祉活動

- ① 三世代ふれあい事業
- ② 福寿の集い(社協共催)
- ③ こだまの会の福祉活動
- ④ 国田地区との友好交流事業
- ⑤ 三の丸地区講演会
- ⑥ 消防第2分団の後援
- ⑦ 防災訓練等の充実
- ⑧ エコチャレンジの継続
- ⑨ 町内会活動への支援
- ⑩ 地区会リーダー研修会
- ⑪ 水戸学の道清掃活動
- ⑫ 花苗配布と花いっぱい運動

ふれあい活動

- ① 市民運動会・歩く会等
- ② 三の丸文化祭の開催
- ③ 水戸学文化祭の開催
- ④ 黄門まつり提灯行列参加
- ⑤ 新春交流会
- ⑥ PTA・学校行事への協力
- ⑦ 水戸二中学区青少年育成会ボランティア活動

地区会活動

- ① 総会・役員会・理事会開催
- ② 各部会・各種団体との連携
- ③ 水戸市事業への協力・協賛
- ④ 住まい街づくり推進協議会との連携

地区会の各事業の他、三の丸女性会・三の丸高齢者クラブ・三の丸こだまの会・PTAなどもそれぞれ各種事業に取り組んでおり、それらの活動詳細については**三の丸市民センター(224-6600)**へお問い合わせください。

黄門さんと水戸学の街、三の丸



光圀公の「大日本史」編纂事業が、斉昭公の弘道館水戸学で具現化され、その弘道館周辺は水戸城大手門の復元など水戸らしい歴史的景観が整備され、今日も関東近辺などから多くの観光客や歴史好きの方々が訪れております。

そして地区会と水府地区町会で取り組んだ、水府橋北側堤防上の「黄門さんの漫遊さくら堤」や「水戸学の道」の魅力の発信に取り組んでおり、これら先人たちの偉業や遺徳を様々な事業を通し街を愛する心や育てる心の醸成に力を尽くしてまいります。



水戸学
文化祭

水戸学文化祭は、弘道館周辺の小学校から高校の児童生徒が、毎年秋に大手門前の広場で吹奏楽など現代水戸学の成果を発表しております。



黄門さん
生誕の地
整備

黄門さんは水戸の宝、黄門生誕の地は黄門さんが4歳まで養育された家老三木之次屋敷跡で、黄門神社が鎮座しております。



黄門さんの
漫遊さくら堤

この漫遊さくら堤には、北は北海道から南は鹿児島まで全国の桜100選に選ばれた銘木27本が植樹され、中央には黄門さんお手植えの茨城町大戸の桜が配置され、桜を愛でながら全国漫遊が出来ます。



大日本史
編纂の地と
白壁通り

水戸二中は、先人たちの大偉業の「大日本史」編纂の跡地で、この周辺学校の和風正門と白壁通りは文教の街に相応しい水戸らしい歴史景観を醸しております。



斉昭公
ゆかりの
安神車

水戸東照宮には、斉昭公考案の戦車の原型と言われる安神車が安置されており、明治維新の魁として全国に「尊皇攘夷」を広めた斉昭公や水戸学の思想が偲ばれます。



三の丸自治コミュニティ連合会の歩み

平成5年	三の丸自治コミュニティ連合会設立
7年	三の丸公民館移転式典(梅香から三の丸へ)
9年	三の丸自治コミュニティ連合会渡辺政明会長就任
10年	栃木県北部記録的豪雨による那珂川氾濫 NHK「徳川慶喜」最終ロケ協力
11年	「三の丸こだまの会」設立 「お堀の桜を愛する会」発足
12年	「こだまの会」シンボルマーク公募により決定 「三の丸朝起き一番の会」(ラジオ体操)発足
13年	大手橋補修・補強工事完成渡り初め 「弘道館内テニスコートを考える会」発足
14年	「大手橋ブルムコンサート」スタート 「三の丸オープンスクール」開設 「三の丸こだまの会ふれあい電話」スタート
15年	「黄門さんの漫遊さくら堤」完成
16年	徳川頼房公立像除幕式 中央郵便局前銀杏坂旧川又書店前横断歩道完成 子どもの居場所づくり(わくわくミステリーサタデー)開始
17年	国田地区との友好調印
19年	県三の丸庁舎弘道館清掃ボランティア活動開始 ホテル観察会(国田地区との交流事業)
20年	歴史世界遺産申請登録記念三の丸キャッチコピー決定 「水戸学と黄門さんの街 三の丸」
21年	水戸城大手門「門扉」120年ぶりに発見 「大手門復元の会」設立 三の丸エコオリンピック(エコチャレンジ)開始
22年	水戸城大手門基金水戸市へ贈呈 名称が「水戸市三の丸市民センター」となる 自治コミュニティ学習室の設置
23年	三の丸自治コミュニティ連合会ホームページ開設 東日本大震災で、三の丸地区も甚大なる被害
24年	水戸市臨時庁舎 三の丸地区に開設 水戸城大手門跡の土壁から側溝と瓦が出土
25年	水戸二中白壁完成
27年	二の丸・三の丸歴史的景観整備竣工式典 弘道館・偕楽園日本遺産認定 水戸城大手門等復元整備一枚瓦城主募集協力
30年	水戸市役所新庁舎竣工
令和2年	水戸城大手門復元整備完成
3年	二の丸角櫓復元整備性
4年	泉町周辺の愛称「ミトリオ」に
5年	水戸市民会館オープン

三の丸さんさん祭りの足跡

昭和61年	第1回 三の丸地区公民館祭り
62年	2回 三の丸地区公民館祭り
63年	3回 三の丸地区公民館祭り
平成1年	4回 広げよう、ふれあいの輪
2年	5回 肩寄せ合って楽しい出会い
3年	6回 メエメエやぎさん今日は
4年	7回 緑化フェア前夜祭
5年	8回 リサイクルで楽しい街づくり
6年	9回 三の丸公民館移転記念
7年	10回 なつかしの校舎よりありがとう
8年	11回 新たな出発、さんさん祭り — 街の歴史の再発見 —
9年	12回 三の丸小学校改築記念
10年	13回 さよなら県庁舎 ガンバレ三の丸 — 三の丸の再生を目指し新たな旅立ち —
11年	14回 水戸市制施行110周年記念 — 2000年 あなたが主役 —
12年	15回 2001年 新たな旅立ち — みんなで築くみんなの街 —
13年	16回 残そう、守ろう、育てよう — 黄門さんと弘道館 —
14年	17回 徳川頼房公生誕400年記念 — みんなで育てよう黄門さんの漫遊さくら堤 —
15年	18回 愛で築こう三の丸 — で愛・ふれ愛・ささえ愛 —
16年	19回 中心市街地区再生に向けて — 負けないで! 頑張って!! —
17年	20回 輝ける未来へ向けて
18年	21回 街、再生への第一歩 — 力強く歩みだした三の丸 —
19年	22回 人を愛して、街を愛して
20年	23回 皆で育て、守り、残そう先人の心と歴史遺産
21年	24回 水戸城大手門復元へ向けて
22年	25回 B級グルメでまちづくり
23年	26回 弘道館開館170周年
24年	27回 復興元年 ふれあいと歴史の街づくり
25年	28回 今よみがえる歴史の街!!
26年	29回 “夢が実現”皆で祝おう歴史の街づくり
27年	30回 友好の絆が育む地球愛!!
令和2年	新型コロナ感染拡大
3年	古の水戸城址復興記念事業
4年	第1回 水戸学文化祭
5年	第2回 水戸学文化祭 天候不良中止
6年	第3回 水戸学文化祭

貴方も、三の丸歴史アドバイザー

水戸学の道おすすめルート

----- 水戸学の道

光圀(義公)ルート (約2.5km・約1時間30分)

水戸藩第2代藩主。徳川家康公の孫にあたり、儒学を奨励し、水戸学の基礎を築いた。

水戸黄門助さん格さん像→A 冠木門→
B 弘道館→C 大手橋→D 水戸城大手門→
E 水戸城跡二の丸展示館→F 水戸城二の丸角櫓→
G 水戸城跡の大シイ→H 見晴台→I 杉山門→
J 薬医門→K 柵町坂下門→L 義公生誕の地→
水戸黄門助さん格さん像

斉昭(烈公)ルート (約2.5km・約1時間30分)

水戸藩第9代藩主。15代将軍慶喜公の父であり、日本遺産の弘道館や偕楽園を創建するなど、水戸の歴史に大きな足跡を残した。

水戸黄門助さん格さん像→A 冠木門→
B 弘道館→M 孔子廟→N 弘道館鹿島神社→
O 八卦堂→P 土壘・堀→R 水戸東照宮→
水戸黄門助さん格さん像

慶喜(将軍)ルート (約4km・約2時間30分)

徳川第15代将軍。水戸で育ち5歳の時から弘道館で学問を修めた。30歳の時に将軍となり、大政奉還を行った。

水戸黄門助さん格さん像→L 義公生誕の地→
K 柵町坂下門→J 薬医門→I 杉山門→
H 見晴台→G 水戸城跡の大シイ→
F 水戸城二の丸角櫓→E 水戸城跡二の丸展示館→
D 水戸城大手門→C 大手橋→B 弘道館→
Q 水戸東武館→P 土壘・堀→A 冠木門→
R 水戸東照宮→水戸黄門助さん格さん像



B 弘道館

「水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」とし、徳川斉昭公が創建した水戸藩の藩校。〇の八卦堂には弘道館の建学の精神を示す「弘道館記碑」が収められている。
入館料: 大人400円/小学生・70歳以上200円
開館時間: 9時~17時
※: 10/1~2月中旬は、9時~16時30分
休館日: 12/29~31



E 水戸城大手門

明治期に取り壊されるまで、水戸城を代表する門としての役割を果たしていた。2020年に復元され、水戸城跡の風情を感じることができる。



E 水戸城跡二の丸展示館

日本遺産に認定された「近世日本の教育遺産群一学ぶ心・礼節の本源」をテーマに、水戸彰考館をはじめとして、水戸の教育遺産の貴重な出土品や資料を展示。
入館料: 無料 開館時間: 9時~16時30分
休館日: 12/29~1/3



F 水戸城二の丸角櫓

水戸城二の丸の南西角にあった二階建ての櫓で、明治期に撤去されたが、2021年に復元された。水戸城の歴史に関する資料等を展示。
入館料: 無料 開館時間: 9時30分~16時
休館日: 12/29~1/3



Q 水戸東武館

水戸藩の武芸を一貫する特徴である「文武不岐」を掲げ、北辰一刀流や新田宮流、抜刀術などの武芸を伝えている。1874年設立。



J 薬医門

水戸城で現存する建造物の1つ。正面の軒が深く風格のある門構えとなっているのが特徴。建築年代は、その様式から安土桃山時代末期と推測される。



L 義公生誕の地

徳川光圀公が生まれ、4歳になるまで過ごした地。水戸黄門神社が建てられている。



N 弘道館鹿島神社

祭神は、天照大神の国土平定に祖業に貢献した武妻槌命(タケミカツチノミコ)で、常陸一の宮である鹿島神社から分霊を勧請して祀ったもの。



R 水戸東照宮

水戸藩初代藩主徳川頼房公が家康公を祀る神社として創建。頼房公が奉納した銅灯笼や斉昭公が考案した戦車「安神車」などが現存する。2021年に創建から400年をむかえた。